

俺たちは雨に濡れたので
近くにあった空き家で
雨風をしのぐことにした。

ふう、雨に濡れるわ
返り血が付くわで
散々じゃないか。

?!

申し訳ありません。
拙がもつと上手くできたら...

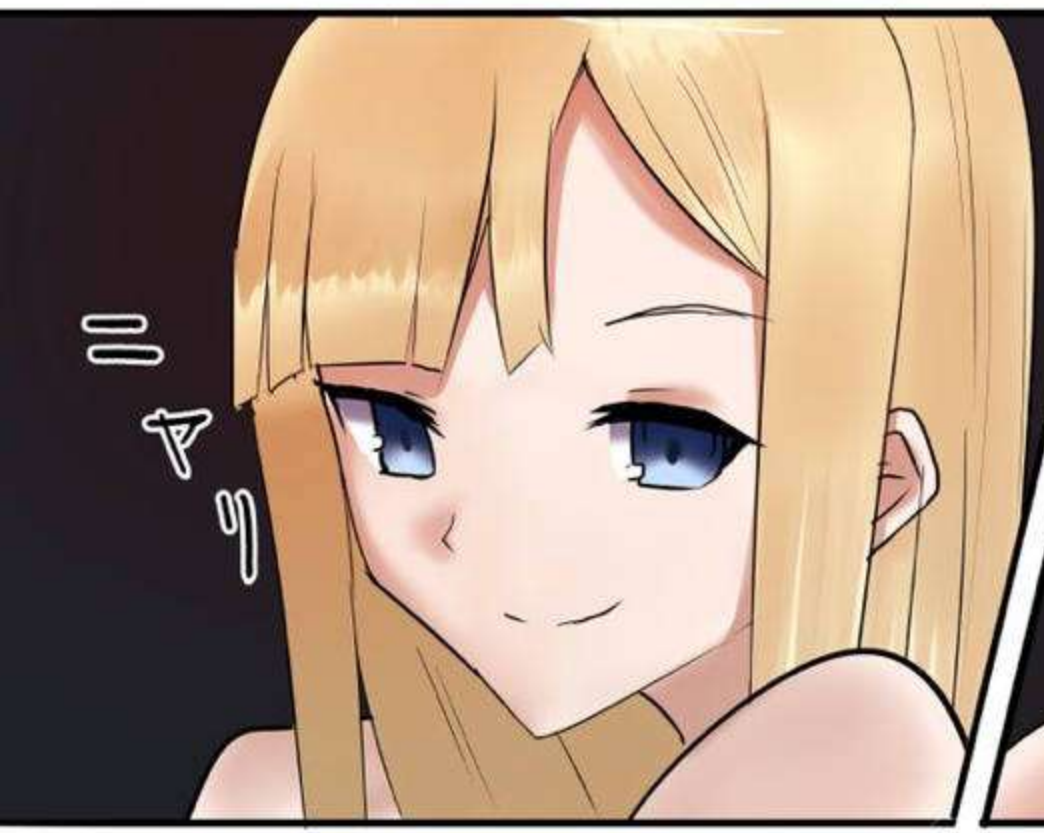




とりあえず、濡れた衣服が
乾くまでこの宿を
貸していただこう。

ラ

ん？



ニヤリ



グイッ



ドサッ

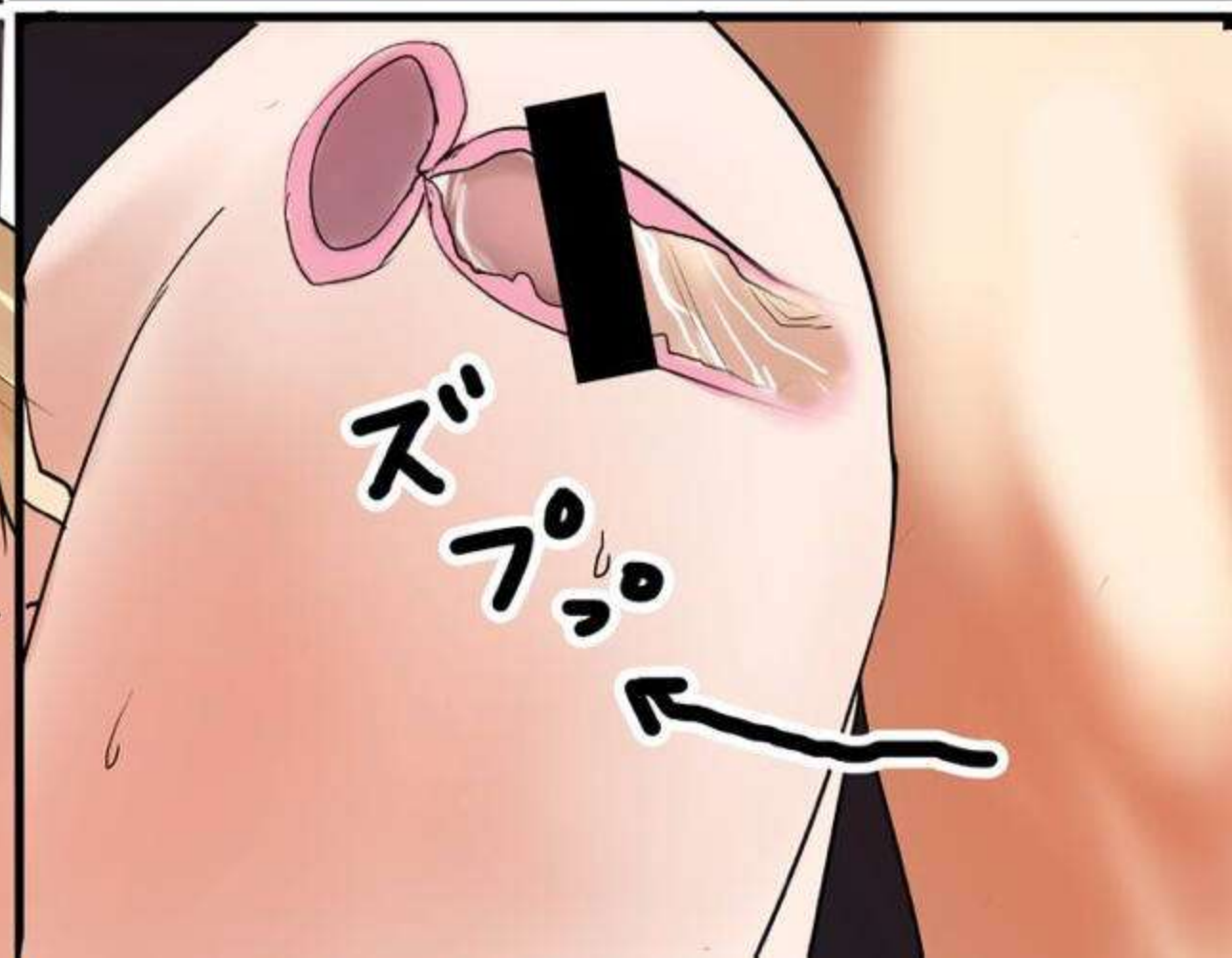
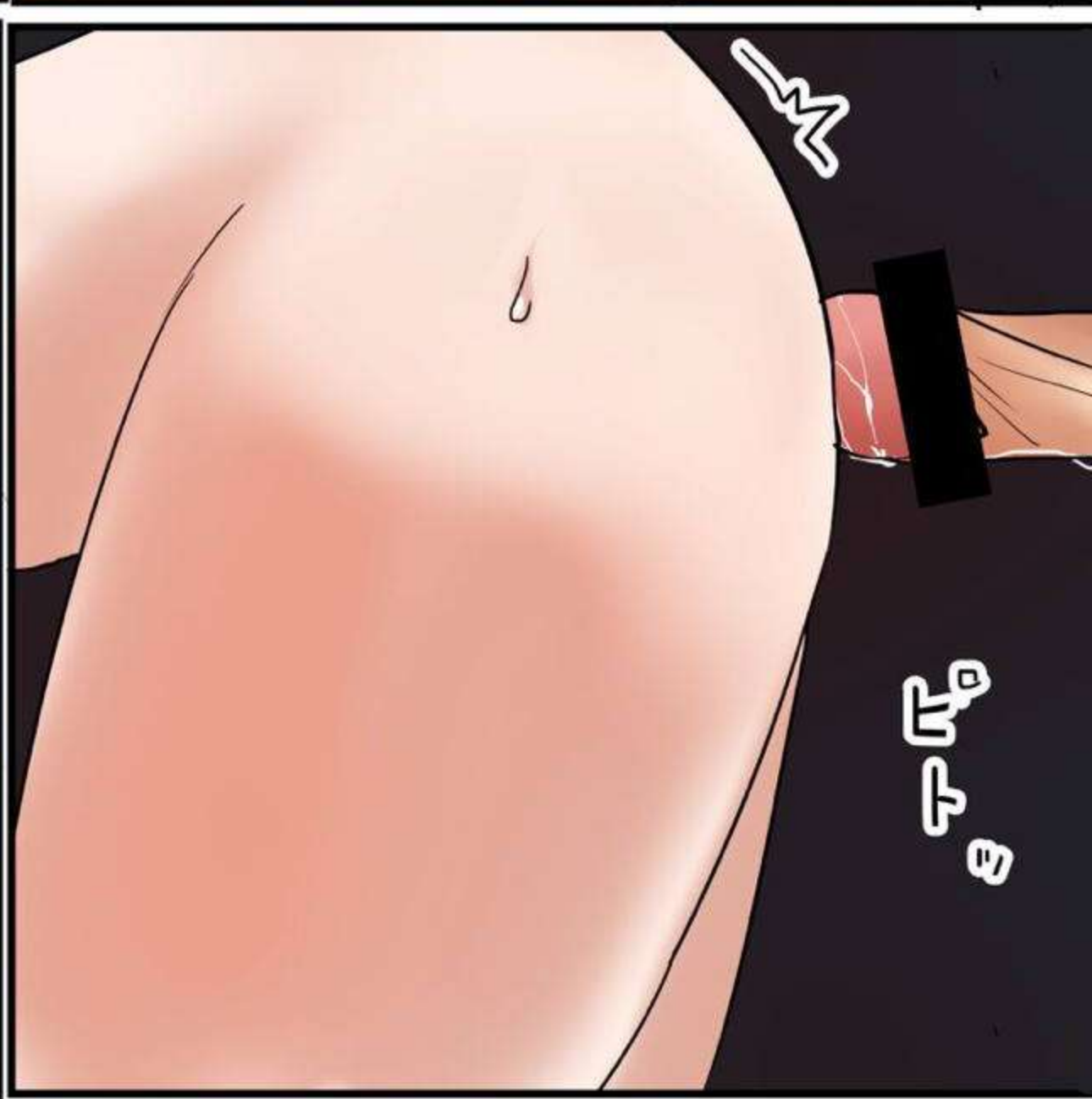
どうしたんだい？
二人の美少女が
薄着になっているのに
目を逸らして。

いつそのこと
ここで子を仕込んで
構わないんだぞ？

そんなに
膨らませて
辛いだろう？

どごその
朴念仁にも
文句の一つも言いたい
ところだったしなあ

あ、くしゃん



まさか迷い
無しで挿入れ
るとは驚いた

んっ

ほあ

ほあ

そんなに
私に女の魅力を
感じてくれるとはな

ドサッ

んっ

んっ?!

あの時の
血が?!

あの魔獣の
体液のせいだな

完全に
盛っちまってるな。

大変!
早く二人に解毒を

グイッ

ドサッ

あっ

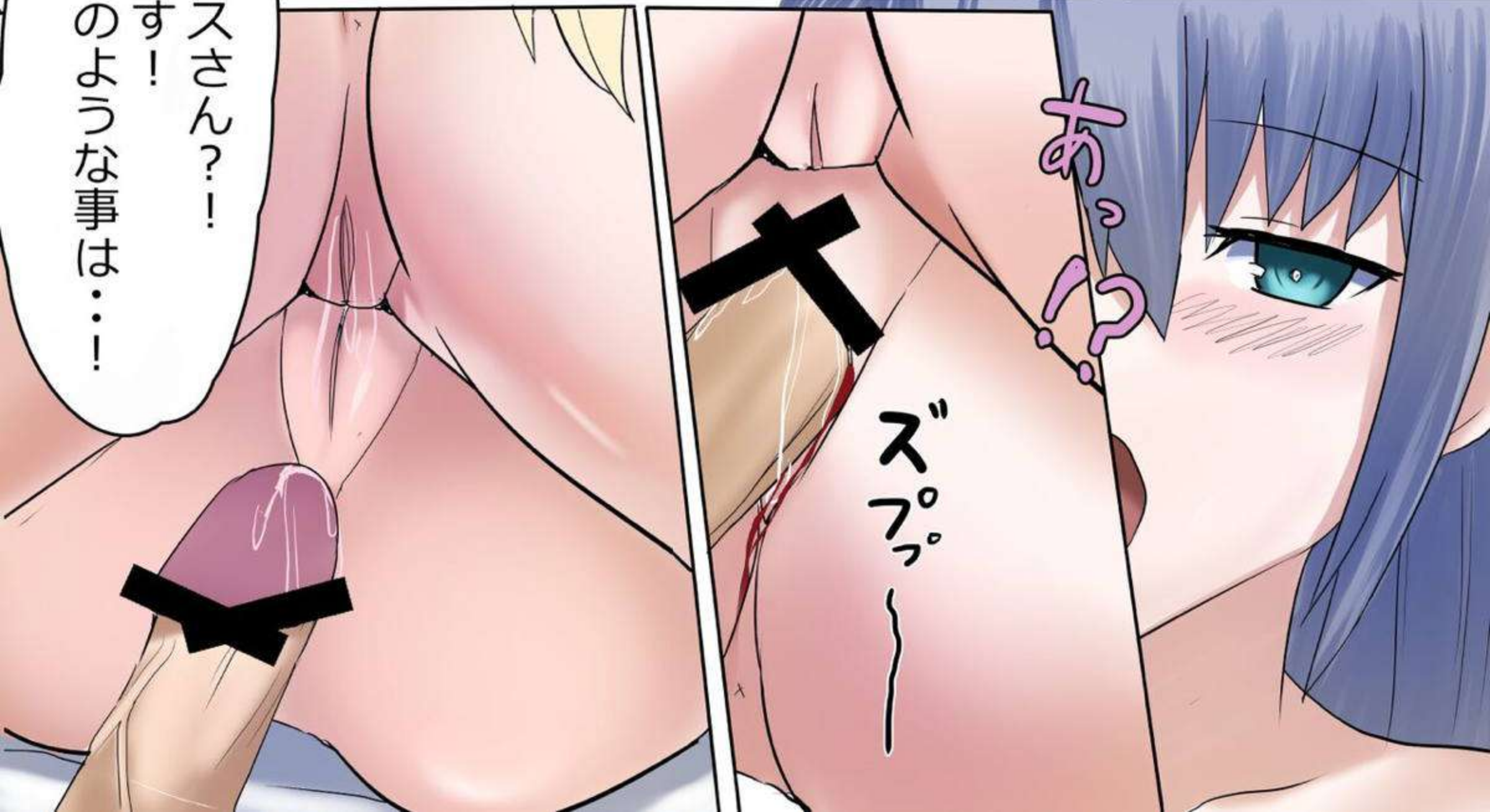
せっかくの
機会なんだ。
グレイも楽しんで
見るといい



ほら、グレイ。
下着はじゃまだろ？

極東の島国では
『据え膳食わぬは男の恥』
とも言うそうじゃないか。
二人の美少女がお待ちかね
だぞ？

ラインスさん?!
ダメです!
拙はそのような事は...!



ズプッ

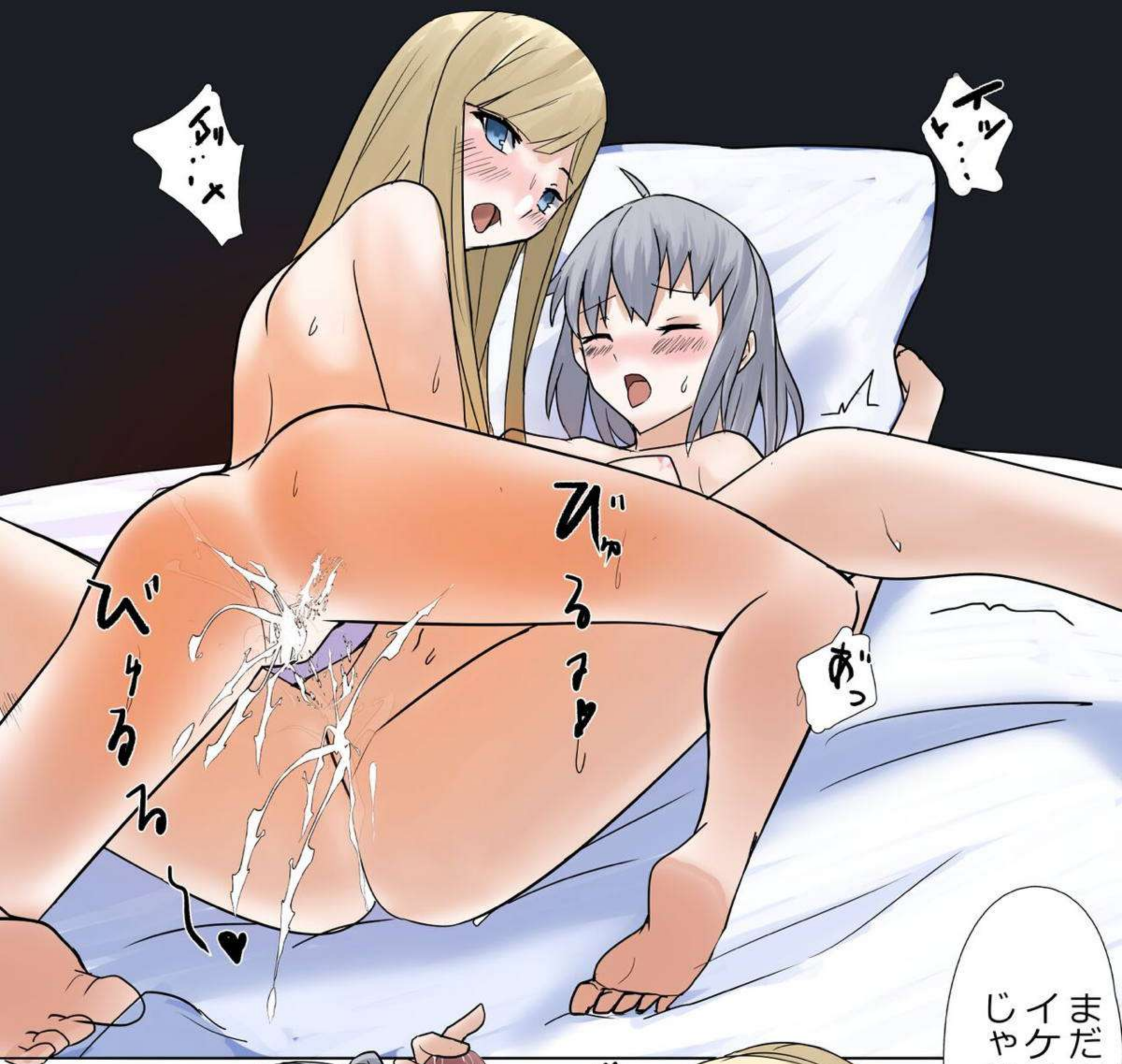
あっ??



拙は初めてなのに。
拙の中で脈打つそれは
どうしようもなく
気持ちよくて……。

癖になりそうでした。





まだまだ
イケそう
じゃないか



しっかりと
責任は
取ってもらいませう

『夫様』